

チームけせんの和 だより

2019
vol.24
9月号

発行 陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字東和野11番地 TEL 0192-22-8671 FAX 0192-22-8672

チームけせんの和に寄せて



岩手県立高田病院・総看護師長 杣 智子

昨年4月より県立高田病院に勤務しております総看護師長の杣（そま）智子と申します。私が赴任する1か月前に現在の新病院に移転（なんと私、引っ越しのお手伝いに来ておりました。何かの縁があったのでしょうか・・・）し、1年半経とうとしております。その間に私はDVD出演もさせていただきました（苦笑）。高田病院看護科といたしましては、退院後の患者さんへの訪問看護、公営住宅へ出向いての「看護出張外来」「ほっとつばきシステム」等これまでの活動を継続しつつ、変化していく地域に合ったものに変えていく必要性も感じております。

そこで、変わっていく地域を自分たちで体感しようということで、当院の看護師が地域で開催される研修会・健康講演会への参加、当院での研修会参加を地域の医療介護福祉施設スタッフの方々へお声がけする等しております。病院の中だけではなく、外の声を聴くことで自分たちができること、外の方と協力・協働できることを考える機会としていきたいと思っております。

その点から「チームけせんの和」の活動はベストマッチ！
個々の活動だけではできることに限りがありますし、新しい考えはなかなか出てきません。でも、チームの力を借りることで「こんなこと」「あんなこと」が可能になるかも知れません。少し硬くなった頭を柔らかくすることが・・・。
私自身も高田病院看護科としても「チームけせんの和」の活動を通し、学ばせていただきたいと思います。

医療介護福祉資源が必ずしも豊富とは言えない地域ですが、その分皆が身近に感じられる地域でもあると思います。今後ACP等を進めていく際も地域の医療介護福祉スタッフが集まったこのチームが中心となり発信できたら、地域に合ったものができあがるのでは・・・と期待しているところです。

私自身も高田病院看護科も、まだまだ発展途上です（まだまだ伸びしろがあると信じております）。皆様のお声とお力をお借りして成長していきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

チームけせんの和に寄せて

社会福祉法人高寿会 ひだまりの丘サービス付き高齢者向け住宅 ほっこり家
管理者 坂下 昌勝

○自分らしくおだやかに

初めまして、ほっこり家の坂下と言います。私は高寿会勤務が半年で今回初めてチームけせんの和について知り、けせんの和だよりを拝見させて頂きました。皆様のさまざまな素晴らしい活動に敬意を表します。

さて、サービス付き高齢者向け住宅とは、60歳以上の高齢者と居室を賃貸契約させて頂き、「安否確認」と「生活相談」のサービス提供を行う施設で、近年全国で設置されてきています。

「ほっこり家」は今年の4月に高寿会が気仙地区で初めて開所。場所は高田町山苗代地内、農免道の市スポーツドーム東側にあります。高齢者の方が緑豊かなひだまりの丘で、自分らしくおだやかに、そして安心して住んでいただきたいと建設したものです。

ご入居頂ける方は、60歳以上の自立の方、または要支援1か2の方です。職員による状況把握や安否確認、生活健康相談などの基本サービスや、ご希望（有料）により食事の提供、清掃や洗濯、買い物代行などのサービスを提供させて頂いております。

○緑豊かな自然環境の中でほっこりと

建物は木造平屋建て、お部屋はキッチン、トイレ、洗面所を完備した広さ約12畳の18室と、風呂も備えた約15畳の2室の計20室です。各お部屋は北側に設けられ、廊下を南側にしてあります。これは入居者さんにできるだけお部屋から出て頂き、テーブルや椅子を配置した廊下や共用の茶の間、廊下から直接出られるウッドデッキなどでひなたぼっこやくつろぎのスペースとしてご利用頂き元気に過ごして頂きたいとの願いを込めております。



キッチン、トイレ、洗面所を完備した居室

このほかに、全員がお食事できる食堂とラウンジ、共用のキッチンや、3カ所ある浴室の浴槽は桧作りで、木の香りを楽しみながらゆったりと入浴できます。また、屋外は緑豊かで遠くに広田湾を眺める風景と南側に花壇や畑があり、散歩や野菜作りを楽しんで頂くことができます。

○わきあいあいと楽しく

入居者さんと定期的に交流イベントを実施しており、これまでにお花見会や民謡愛好会の慰問において頂いたり、大学生との交流、昔なつかしいお菓子なべやき作りなどを行っており、今後も一緒にいろいろな企画で楽しんでまいります。



民謡愛好会による歌と踊りで楽しいひととき

○入居者募集中

ほっこり家では、現在も入居者を募集しており、随時見学や相談などができますので、お気軽においで下さい。まだ開所したばかりの施設ですが、当地域の高齢者のお役にたてるようお手伝いさせて頂きたいと考えておりますので、チームけせんの和の皆様はじめ関係皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。



庭園でひなたぼっこ

石木幹人元会長『若月賞』受賞

陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）元会長で、現在は国民健康保険二又診療所長の石木幹人先生が、全国の保健・医療・福祉の分野で真摯に草の根的活動を繰り広げる人々に贈られる「若月賞」を受賞されました。おめでとうございます。



石木幹人先生から受賞のメッセージ

令和元年7月19日佐久総合病院にて若月賞をいただいて来ました。受賞趣旨は2004年岩手県立高田病院に平成16年に赴任以来、高齢者に優しい病院を目指し、地域住民、地域の医療や介護などに携わる人達と連携、実行し、東日本大震災の後も継続し地域医療の復旧に貢献したという事でした。これは私個人に対するだけでなく関係する多くの人たちとともに受賞したものだと感じています。

思い返すと、「陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）」は発足の機運が高まり被災の直前に発足の記念講演を行い、活動を始める準備が整いつつあった時に被災しました。被災後もその繋がりは切れる事なく続き、高田病院救護所のあった米崎コミセンで、被災後早期にケアマネジャーやリハビリスタッフたちが集まりケアカンファレンスが行われていました。時機が熟して「チームけせんの和」が発足しました。



これは私が陸前高田市に赴任以来得られた大きな宝物の一つです。これからもみんな力を合わせて、超高齢社会を乗り切っていくために頑張っていきたいと思います。

市立図書館に寸劇 DVD 寄贈

6月18日、チームけせんの和会長（岩井直路国保広田診療所所長）より、市立図書館に「多くの市民にDVDを見てもらい、介護知らずで老後を乗り切るために役立ててほしい」と劇団ばば☆寸劇DVD第2作目『健康長寿はお口から!』、第3作目『転倒知らずは寝たきり知らず!』のDVD計6枚が贈られました。細谷勇次館長からは、「健康と介護予防につながるとてもいい内容なのでぜひ市民のみなさんに利用してほしい」との呼びかけもあり、その後には順調に活用されているとのことでした。



令和元年7月2日(火)

令和元年度 第2回研修会

保健福祉総合センター 70名参加

「医療と介護を通して気仙医療圏の将来を考える」

講師 陸前高田の在宅療養を支える会

会長 岩井 直路 氏(国保広田診療所 所長)



陸前高田市の現在の高齢化率は38.2%で20年後には55%近くとなり、人口も13,000人を割る予測値が出されているが、特徴としては生産年齢が60%減少し将来の介護需要の増加を気仙医療圏の中での対応を考えている必要性が示されました。

また平成29年度の気仙圏域でのがんの死亡数は303人の現状で、本人、家族にとって幸せな最期を迎えられているか? どんな取り組みを推進していけば良いか? との問題提示がありました。

そのためには、現在ある県立高田病院の「ほっとつばきシステム」を活かしたものとして活用し、情報共有としては未来かなえネットの改善と積極的利用が必要であり、また死



をどう迎えたいかを意思を共有し記録するACP(アドバンス・ケア・プランニング:人生会議)の推進の必要性があると話されました。それは在宅だけではなく施設での看取りの体制も一緒に考えていかなければならないものであり、チームけせんの和としても研修会等で継続して取り組んでいくことを共有しました。

新規事業所の紹介 !

新規事業所として「広田技建」(小友町)、気仙訪問看護ステーション(大船渡)、SOMP Oケア大船渡訪問看護(大船渡)が入会を申し込まれました。会員の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

編集後記

やっと秋の気配を実感できる頃となりました。8月28日に行なわれた第3回研修会「地域における看取りとACPの課題と対策」のグループワークにおいては、お忙しい中多くの皆さんが参加され、現場それぞれから貴重なお提示をいただきありがとうございました。

次号の会報に内容をお伝えし、その上で私達にできる取り組みを一緒に考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

皆様多忙な日々と察しますが、秋ならではの癒しも見つけ、ホッと自分のための時間も楽しみましょう。(菅野)